

# 6次産業化に関する調査研究報告書

－流通・消費の視点から－

2014年3月

草津市 草津未来研究所



## 要旨

地域の雇用と所得を増やし、将来に希望が持てるような農業に変えていくため、全国で6次産業化が求められているところであるが、草津市の農業の特徴を分析した2012年度の「草津市の6次産業化に関する基礎調査」に、新たに流通と消費の視点を加え、具体的な取り組みについて検討したのが本調査研究である。

まず、流通の視点からは、草津市の主要な野菜が9割以上卸売市場を經由して消費者に販売されていること、マーケティングのなかでも特に生産者と消費者のコミュニケーションが必要なこと等が分かった。次に、消費の視点からは、市が独自に実施したアンケート調査等を通じ、野菜の鮮度が良いことや、販売の時点で小分けにされていること等が消費者の求めている視点であることが分かった。

その他、2012年度の基礎調査から、草津市の農業経営体は、兼業農家の数が多く、専業農家の数が少ないこと、県内一の栽培面積がある軟弱野菜（みずな、ほうれんそう等）に強みがあること等がすでに明らかになっているが、それぞれの特性に応じた戦略が必要であることが新たに明らかになった。

また、農業者だけでなく、消費者や流通関係者等が一体となり、生産から消費までを一体的に捉らえて独自にブランド化するため、広く関係者が集い、食と農について協議する場を設け、「草津市6次産業化促進計画」（仮称）を策定し野菜の摂取量が減っている現状を逆手にとった健康志向の取り組みを、「野菜健康都市宣言」等を通じて行うことを提示した。

具体的な取り組みとして、スムージー、ドライフルーツ、ドライ野菜、カット野菜等について紹介している。



## 目次

はじめに.....	1
第1章 基礎調査のまとめ.....	2
1 6次産業化とは.....	2
(1) 定義.....	2
(2) 法制度.....	3
(3) 6次産業化の必要とされる背景.....	3
2 草津市の現状のまとめ.....	4
(1) 草津市の現状.....	4
(2) 農業の分析.....	5
3 先行事例から学ぶ.....	6
(1) 先行事例.....	6
(2) 先行事例からの示唆.....	7
(3) 草津市の取り組みの可能性.....	7
第2章 流通の視点.....	9
1 青果の流通システム.....	9
2 新たな流通システムの確立.....	10
3 マーケティングにおける 4P, 4C について.....	12
4 ブランド化の必要性.....	14
第3章 消費の視点.....	15
1 野菜の消費傾向.....	15
2 消費者アンケートの結果から考える.....	17
(1) 結果.....	17
(2) 分析.....	19
(3) 考察.....	21

第4章 草津市における6次産業化の方向性.....	23
1 基本的な考え方.....	23
(1) 農業規模の違いに応じた政策・施策の推進.....	23
(2) 生産者と消費者の顔の見える関係づくり.....	25
2 具体的な取り組み.....	25
(1) 草津市で進みつつある取り組み.....	25
(2) 今後考えられる取り組み.....	28
3 推進のための手段.....	31
(1) 協議会等の設置.....	31
(2) 草津市6次産業化促進計画(仮称)の策定.....	33
 おわりに.....	 35
 関係者一覧.....	 36
 参考文献.....	 37
 参考資料.....	 41

## はじめに

草津市における農業の6次産業化の可能性を探り、草津市ならではの6次産業化を推進するための全体像を示すためには、何をすべきか。草津未来研究所では、2012年度に行った「6次産業化に関する基礎調査」を受け、2013年度は「流通・消費の視点」から6次産業化についてさらなる調査研究を行った。2年目の調査研究では、これから新たに6次産業に取り組むことを考えている市民のために、消費者の心を捉え、市場のニーズにあったものを生産できるような提案をすることを目的として、学識経験者、生産者、消費流通業者、JA草津市、滋賀県、草津市で構成した研究会を構成し、議論を重ねた。

第1章では、前年度の基礎調査を振り返り、改めてその定義や法制度について触れている。また、草津市の農業の現状や先行事例から、課題と可能性について考察した。

第2章では、6次産業化を推進するにあたり、流通の視点から確立すべきシステムについて考え、マーケティングの重要性やブランド化の必要性について記述した。

第3章では、消費の視点から、まず、全国的な野菜の消費動向やその問題点について触れ、次に、市民を対象に行ったアンケートを基に、野菜の消費についての現状や傾向について分析・考察した。

第4章では、2012年度の基礎調査および今年度の調査研究の内容を踏まえ、草津市の6次産業化の方向性を探るため、新たな展開を行うための仕組みづくりについて考察した。